

平成27年度

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28 年 3 月 20 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2773000688		
法人名	株式会社ライフサポートジャパン		
事業所名	グループホームゆうとぴ庵大阪・淡路		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪府大阪市東淀川区東淡路5丁目8番38		
自己評価作成日	2016年2月1日	評価結果市町村受理日	平成28年5月2日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	http://www.kaigokensaku.jp/27/
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6-25-224
訪問調査日	平成28年2月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域のハーモニカ演奏ボランティアの受入や地域行事への参加、またAED設置や小学校PTAが主催で行っている「こども110番」への登録等、地域とのつながりを大切にしております。また、地域の小学生、中学生たち(人と人をつなぐ紙芝居の会)による紙芝居をホームで実演していただいたり、地域ボランティアの受け入れなども積極的に行っています。食事については通常のメニューの他にリクエストメニュー等も取り入れ、ご利用者様の希望を取り入れ提供しております。今後も地域の皆様に少しでもご理解して頂け、また愛されるグループホームになる様に色々な事に取り組んでいきたいと考えております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

全館改装され、さらに明るくゆったりした共用スペースには、リビング・談話室・テラス等、思い思いに過ごせるスペースが確保されている。畳と懐かしい日用品が設置され、お茶会を楽しみながら回想法も行われている。散歩や買い物で地域に出かけ、夏祭り等地域の行事や活動に参加し、定期的なボランティアの来訪もある。福祉避難所・子供110番としての登録、AEDの設置、また、介護相談受け等、事業所の機能を活かして地域で必要とされる役割を担えるように取り組んでいる。研修は年間計画に基づいて全員が参加できるまで複数回実施し、定期的な会議・委員会活動等により、職員の資質向上と連携に努め、職員の定着もよい。職員の意見を集約して毎月モニタリングを行い、現状に即した個別性のある介護計画の下にサービス提供が行われている。重度化・終末期対応については、主治医と密に連携を採りながら、本人・家族の意向に沿った支援を行う体制がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>事業所の理念のもと各フロアに理念を掲示して意識を持つようにし、フロア会議等で実践に向けて取り組んでおります。</p>	<p>「より良い介護」「感動ある介護」という法人の理念を基に、8項目の基本方針を掲げている。基本方針は、職員の行動規範となる具体的な内容で、「私たちは、地域との連携に努め、地域に根差したグループホームを目指します。」という地域密着型サービスとしての意義が盛り込まれている。理念と基本方針を玄関と各フロアに掲示し、職員が常に目にして意識づけができるようにしている。フロア会議の中で理念に立ち戻って話し合い、また、フロアごとに年間の実践目標を設定し、理念の実践に取り組んでいる。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>自治会長を通じての交流や近隣ボランティアの受け入れ等を積極的に行っております。地域の学生による紙芝居なども取り入れています。</p>	<p>散歩や買い物の機会に日常的に地域に出かけ、また、夏祭り等地域の行事や活動に参加し、地域資源の活用や地域の方との交流を行っている。小学生・中学生による紙芝居や、毎月定期的にハーモニカ演奏のボランティアの来訪もある。福祉避難所・子供110番としての登録、AEDの設置、また、介護相談受け付け等、事業所の機能を活かして地域で必要とされる役割を担えるように取り組んでいる。来年度からより近隣の町会に所属することとなり、地域との交流や連携を深められるように検討している。</p>	

3	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>認知症対応施設としての案内や『子供110番』の登録やAED設置の案内を玄関に掲示し、地域へアピールしている。</p>		
4	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>基本的に偶数月の第一土曜日に開催しており、多数のご意見等を頂戴し活用させて頂いております。</p>	<p>家族・地域包括支援センター職員・自治会長が参加し、2か月に1回定期的実施している。会議では、利用者の状況や事業所の活動内容等の報告を行い、参加者からの意見や情報提供を受けている。また、参加者から活動に対する評価や助言を受けたり、自治会長から情報提供を受け利用者と共に地域行事に参加するなど、会議での意見や情報をサービスや運営に活かしている。会議の実施後は議事録を掲示して、公開している。</p>	<p>運営推進会議は利用者・家族が外部者に意見を表せる機会でもあるため、可能な範囲で利用者の参加を勧め、また、複数の家族が参加できるような呼びかけの工夫を期待する。</p>
5	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>運営上で困った事等がある時には常に相談させて頂いております。東淀川区小地域ネットワーク連絡会議へも出席しています。</p>	<p>運営推進会議に地域包括支援センター職員が出席し、利用者の状況や事業所の取り組みなどを把握してもらい、情報や助言を受け連携が取られている。区の小地域ネットワーク連絡会やグループホーム連絡会に出席し、そこには区の職員の参加もあり情報交換の機会となっている。事業所に介護相談に来られた方を包括支援センターにつなげたり、福祉的支援を必要とする利用者には区の職員と連携を取りながら支援している。</p>	

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束に関する研修を定期的に行うなど職員への周知徹底を図り取り組んでいます。</p>	<p>身体拘束を行わない方針を明示し、契約時に家族に説明している。年間研修計画の中に「身体拘束廃止・高齢者虐待防止」を盛り込み、年2回法人の教育担当による研修を実施している。さらに事業所内でも、知識的な内容と事例を基にした内容とに回を分けて、年に2回研修を実施している。事業所内研修は職員全員が受講できるまで複数回実施し、全職員が正しい理解を持って実践できるように取り組んでいる。スピーチロックなど心理的な拘束につながらないように、管理者層から注意を促したり、フロア会議で話し合ったりしている。フロアのドアは施錠せず、エレベーターの使用も自由にでき、利用者は自由にフロア間を移動できる環境にある。玄関は施錠しているが、利用者に外出の意向があれば同行し、行動を制限しない支援に努めている。</p>	
7		<p>○虐待防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止について研修機会を持ち常に注意を払っています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>内部研修、外部研修を通じて学んでいます。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時など特に誤解がないよう説明行っています。</p>		

10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議や意見・相談箱以外にも直接ご意見がないか声を心掛けています。</p>	<p>家族の来訪時には近況を報告し、毎月の便りで個別の状況を伝え、家族から意見や要望が出やすいように配慮している。夏祭りや誕生会に家族を招待し、話しやすい雰囲気の中で意見や要望を聞く機会としている。ホーム長に24時間体制で電話・メール連絡ができる体制がある。相談箱も設置している。意見・要望は個人的なものがほとんどで、ホーム長に報告するとともに、申し送りノートやカンファレンスで共有し、また、内容によってはプランに反映して実施している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>職員用の意見・相談箱も設置し把握に努め、各ミーティングにおいても職員の意見を聞き反映させています。</p>	<p>月に1回開催されるフロア会議・マネージャー会議・各委員会で職員が意見や提案を出し合い、ホーム長も出席して把握している。フロア会議で各フロアの職員が出した意見・提案を、マネージャー会議でホーム長・リーダーが検討し、またフロア会議にフィードバックするという、職員の意見・提案が運営に反映させる仕組みがあり機能している。ホーム長が日々のコミュニケーションで把握した意見・提案は、申し送り時やフロア会議で話し合う機会を設けている。利用者との馴染みの関係を配慮し、職員の異動は最小限にとどめている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>各職員のスキルアップや資格取得に伴う手当等の設定にて就業環境の改善に努めております。</p>		

13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>必要となる研修を内外で受講できるよう機会の確保に努めています。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>区内グループホーム連絡会や小地域ネットワーク連絡会議を通じて更に質の向上への取組みを行っています。</p>		
<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居相談時から本人様との面談等を通じた情報収集により関係づくりに努めております。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居相談時から本人様との面談等を通じた情報収集により関係づくりに努めております。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>様々な専門機関との連携を図る事により対応出来る様に努め、その時に必要なサービスの提供ができるよう対応しています。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員も利用者様も同じ庵の一員として生活の場を提供できるようにしています。</p>		

19		<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族様とも同様に絆を大切にしながら関係性を築いています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>友人、知人など人や場所との交流が継続できるよう支援しています。</p>	<p>入居時に把握した馴染みの人や場所についての情報はフェイスシートに記録し、入居後の生活の中で把握した情報は申し送りノートや毎月のカンファレンスで共有している。家族の了解の下に馴染みの人との関係継続を支援し、友人・知人や教え子等の来訪の際には居室やテラスでゆっくり過ごしてもらえるように歓待している。散歩や初詣・地域行事で馴染みの場所を訪れたり、馴染みの商店や理美容院等を利用できるように支援し、馴染みの関係が継続ができるように取り組んでいる。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者様お互いが支え合う仲間として暮らせるよう配慮しています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス終了後も本人様、ご家族様とも築いた関係性を大切にしています。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	<p>○思いやり意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人様の思いを大切にして意思決定ができるよう支援しています。</p>	<p>3カ月に1回「施設サービス計画書」を見直す時には利用者の意向を確認し、計画に反映している。日々の生活の中で把握した思いや意向は、申し送りノートやカンファレンスで共有している。思いや意向の把握が難しい利用者については、家族からの情報や意見を参考にすると共に、日々関わる中で表情や行動から汲み取れるように努めている。アセスメントは、「私は・・・」という利用者を主体に記載する書式で行い、利用者の視点に立って考えられるように取り組んでいる。</p>
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める</p>	<p>家族様や親戚の方等より情報を頂いたり、各機関各サマリー等を活用して把握しております。</p>	
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>体調変化等の身体情報の書類も含め、現状の把握に努め穏やかに過ごせるようしています。</p>	

26	<p>10</p> <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人様やご家族様の希望をプランに反映し、モニタリングでの評価を毎月行っております。</p>	<p>定期的には3カ月に1回「施設サービス計画書」の見直しを実施している。計画に基づいたサービスの実施状況は、毎日「ケア実施表」に記録している。日々の生活状況は、各種チェック表と個人記録に記録されている。毎月実施されるフロア会議のケースカンファレンスで、利用者の状況や支援方法についての意見を出し合い、それらを基に担当職員が月に1回モニタリングを行っている。「施設サービス計画書」の見直しの際には、利用者・家族の意向を確認し、また、必要に応じて主治医・訪問リハビリ・心療内科医・歯科医等関係者の意見を探り入れている。モニタリングとケースカンファレンスに加え、発症経過シートの見直しと再アセスメントを行い、現状に即した計画書を作成している。</p>	
27	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々のケアを記録し次のケアに活かせるようしています。</p>		
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>様々な意見やアイディアを検討し柔軟に対応できるよう取り組んでいます。</p>		
29	<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近隣での買い物や図書館の利用、またボランティア受入等に取り組んでいます。</p>		

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>往診及び通院時の対応等、本人及びご家族様の希望に沿った支援を行っております。</p>	<p>契約時に意向を確認し、利用者・家族が希望する受診を支援している。内科・歯科・心療内科の定期的・随時の往診を受けられる体制がある。他科に通院で受診する場合は、概ね職員が同行し、利用者の状態を医師に伝えている。受診の結果は、日報・体調管理表に記録し、申し送りノートで職員間で共有している。家族には、受診結果を電話で報告している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>訪問看護師との連携により適切な支援を行っております。</p>	/	/
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入退院時は病院の医療連携室や相談員との情報交換により早期退院に向け対応しております。</p>	/	/
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居前と契約時には家族様にも方針を説明し同意を頂いております。</p>	<p>重度化・終末期に向けた事業所の方針を「看取りに関する指針」「重度化した場合の対応にかかる指針」に明示し、契約時に利用者・家族に説明して同意を得ている。重度化・終末期を迎えた段階で、再度説明し、同意を得る文書を主治医と共に作成している。また、看取りの介護計画を作成し、利用者・家族の意向に沿った支援を行う仕組みがある。年間研修計画に「終末期における看取り」を盛り込んで研修を行い、職員に周知を図っている。</p>	

34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>AEDの操作や救急救命の講習などを学び火災訓練なども定期的に行っています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練実施や地域の協力体制の確保等に取り組んでおります。</p>	<p>年間計画に盛り込んで、年に2回（7月・2月）、大阪消防振興協会の立ち合いの下、避難誘導・消火・通報の総合訓練を行っている。訓練は、昼夜想定で、利用者も参加している。訓練月には、「非常災害時の避難」についての研修も行われている。自治会長や隣接するタクシー会社に、災害時の協力依頼を行っている。事業所は、福祉避難所としての指定も受けている。水・食料・備品など、必要な備蓄を行っている。</p>	
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>一人ひとりの人格の尊重を行い言葉遣いなど注意しています。</p>	<p>基本方針に、「入居者様の自尊心と人生を尊重し・・・」と謳い、一人ひとりの尊重を職員間で共有している。年間研修計画に「プライバシー保護・個人情報保護」を盛り込み、グループホームの中でのプライバシー保護についての資料を基に研修を行い、職員が具体的に学べるように取り組んでいる。個人記録類は書庫に保管し、個人情報の適正な管理に努めている。</p>	

37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ご本人様の意向に沿い出来る限り自己決定して頂ける環境作りを行っております。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ご本人様の意向に沿い出来る限り自己決定して頂ける環境作りを行っております。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>本人の希望に沿って理髪店に行ったり化粧品類等を購入しに行く等の取組みを行っております。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>希望や好みをメニューに取組んだり、食事作りにも参加いただいています。</p>	<p>業者から献立と食材の提供を受け、各フロアで手作りの調理を行っている。季節や行事等に合わせた献立が立てられている。食事委員会を月に1回開催し、利用者の摂食状況や嗜好を話し合い、業者に伝え献立に反映させている。利用者の希望を聞いて「リクエストメニュー」の日を設け買い物から調理を行ったり、利用者と一緒におやつを作る機会を設けている。各フロアから持ち寄ったのバイキングや、回想法と共に開くお茶会を定期的に行っている。フロアごとに外食や喫茶を楽しむの機会も持っている。嚥下状態に課題のある利用者には、食事形態を検討し個別の状態にあわせた形態で提供している。</p>	

41	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量や水分量などチェックを行い健康状態の把握に努めています。</p>		
42	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>口腔ケアを支援し、必要に応じて歯科医や口腔衛生士利用の提供を行っています。</p>		
43	<p>○排泄の自立支援</p> <p>16 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレで自立した排泄が少しでもできるよう配慮しています。</p>	<p>排泄チェック表を活用して、一人ひとりの排泄状況やパターンを把握し、昼間はトイレでの排泄を大切に支援を行っている。夜間は、安眠にも配慮しながら個別の支援方法を共有している。ひとり一人に適した排泄用品や介助方法については、カンファレンスで検討している。トイレ誘導時・報告時等は、周囲に十分配慮しプライバシーの確保に努めている。</p>	
44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘の原因を検討し便秘解消のためにできることを取り組んでいます。</p>		

45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>個々の状況に応じて入浴を柔軟に行い、また、入浴が楽しめるよう月替わりの湯を用意しています。</p>	<p>基本的には週2～4回の入浴とし、利用者の身体状況や生活習慣等に合わせ入浴を支援している。入浴を好まない利用者には、理由を検討して支援方法を工夫している。異性介助を嫌がる利用者には同性で対応する体制がある。身体状況に応じて2人介助で支援し、安全に浴槽で入浴できるように支援している。ゆず湯・しょうぶ湯等、月替わりの湯を用意し入浴を楽しめるよう配慮している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>生活習慣に合わせてお昼寝などもできるよう支援しています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>使用の目的や副作用を理解して服薬の支援に努めています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>本人様の生活歴に合った楽しみが持てるよう支援しています。</p>		

49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>個々の希望に応じて外出できる支援を行い、図書館の利用やドライブ、また定期的に自宅へ戻られたり等、外出支援に取り組んでおります。</p>	<p>日常的には散歩や馴染みの商店街に買い物に出かけている。自治会主催の夏祭りや地域の行事や活動にも参加している。初詣・桜・バラ・菖蒲・紅葉等、季節ごとの外出も行っている。車いすの利用者も、機会均等に外出できるように配慮している。自宅・図書館・個人の買い物等には、個別の外出を支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者本人様がお金を使えるよう買物など支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族様からの電話を取り次いだり、入居者様から希望があれば支援しております。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居心地良い空間として利用いただけるよう工夫し、家庭的な中で生活していただけるよう努めています。</p>	<p>全館改装され、共用スペースはさらに明るくゆったりとなっている。リビング・談話室・テラス等、思い思いに過ごせるスペースが確保されている。談話室・テラスにはソファセットが、また、テラスによっては畳と懐かしい日用品が設置されている。各フロアは、生活委員が中心になって季節感のある飾りに配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>談話室でのテーブル位置やテラスを自由に使用して頂く等も工夫しております。</p>		

54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の写真や馴染みの家具の持ち込んでいただき、ご利用者の希望を取り入れています。</p>	<p>居室にベッド・クロゼット・机が備え付けられている。家族の協力をお願いして、使い慣れた馴染みの家具や道具、思い出の写真や飾り物等を持ち込み、落ち着いて過ごせる環境作りを支援している。仏壇を持ち込まれ、月命日にお寺からお参りに来られる利用者もある。温度・湿度管理を行い、体調管理に努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各会議を中心に安全な環境づくりに取り組んでおります。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	<p>①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない</p>
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	<p>①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない</p>
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない</p>
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない</p>
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない</p>

グループホームゆうとぴ庵大阪・淡路

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない